

公益財団法人愛媛県消防協会個人情報保護管理規則

(目的)

第1条 この規則は、公益財団法人愛媛県消防協会（以下「消防協会」という。）が定める「公益財団法人愛媛県消防協会個人情報保護に関する基本方針」に従い、個人情報（個人情報保護の保護に関する法律（平成15年法律第57号。以下「個人情報保護法」という。）第2条第1項及び（行政手続における特定個人を識別するための番号の利用等に関する法律（平成25年法律第27号。以下「番号法」という。）第2条第3項に規定する個人情報をいい、番号法第2条第8項に規定する特定個人情報を含む。以下同じ。）の適正な取扱いに関して消防協会（公益財団法人愛媛県消防協会定款（以下「定款」という。）第42条に規定する東予・中予・南予支部を含む。）の役職員等が遵守すべき事項を定め、これを実施運用することにより個人情報を適切に保護、管理することを目的とする。

(定義)

第2条 この規則において、次の各号に掲げる用語の意義は、それぞれ当該各号に定めるところによる。

(1) 個人情報

「個人情報」とは、個人情報保護法第2条第1項に規定する個人情報であって、生存する個人に関する情報であり、当該情報に含まれる氏名、生年月日その他の記述等により特定の個人を識別することができるもの（他の情報と容易に照合することができ、それにより特定の個人を識別することができることとなるものを含む。）をいう。

(2) 個人番号

「個人番号」とは、番号法第7条第1項又は第2項の規定により、住民票コードを変換して得られる番号であって、当該住民票コードが記載された住民票に係る者を識別するために指定されるものをいう。（番号法第2条第6項及び第7項、第8条並びに第67条並びに附則第3条第1項から第3項まで及び第5項における個人番号）。

(3) 特定個人情報

「特定個人情報」とは、個人番号（個人番号に対応し、当該個人番号に代わって用いられる番号、記号その他の符号であって、住民票コード以外のものを含む。番号法第7条第1項及び第2項、第8条並びに第67条並びに附

則第3条第1項から第3項まで及び第5項を除き。以下同じ。)をその内容に含む個人情報をいう。

(4) 特定個人情報等

「特定個人情報等」とは、特定個人情報及び関連情報を併せたものをいう。

(5) 個人番号関係事務

「個人番号関係事務」とは、番号法第9条第3項の規定により個人番号利用事務に関して行われる他人の個人番号を必要な限度で利用して行う事務をいう。

(6) 個人情報データベース等

「個人情報データベース等」とは、個人情報を含む情報の集合物であって次に掲げるものをいう。

ア 特定の個人情報をコンピュータを用いて検索することができるように体系的に構成したもの。

イ アに掲げるもののほか、個人情報を一定の規則に従って整理することにより特定の個人情報を容易に検索することができるように体系的に構成したものであって、目次、検索その他検索を容易にするためのものを有するもの。

(7) 個人データ

「個人データ」とは、個人情報データベース等を構成する個人情報をいう。

(8) 本人

「本人」とは、当該個人情報によって識別される、又は識別され得る、生存する特定の個人をいう。

(9) 役職員等

「役職員等」とは、消防協会に所属する（定款第42条に規定する東予・中予・南予支部を含む。）すべての理事、監事、評議員、就業規則第3条に規定する職員及び嘱託又は臨時的に雇用された職員をいう。

(10) 個人情報管理責任者

「個人情報管理責任者」とは、会長によって指名された者であって、個人情報保護コンプライアンス・プログラムの運用に関する責任と権限を有する者をいう。

(適用範囲)

第3条 この規則は、すべての役職員等に適用する。また、退職後においても在任又は在籍中に取得・アクセスした個人情報については、この規則に従うものとする。

2 専門委員、各種委員会委員、顧問及び消防協会の事業について嘱託又は依頼を受けた者が、消防協会の業務に従事する場合には、当該従事者は、この規則を遵守しなければならない。

3 前項の従事者を管理する立場にある者は、当該従事者に対し、この規則の遵守を確保するために必要な措置を講じなければならない。

(個人情報管理責任者)

第4条 定款第45条第2項の事務局長を個人情報管理責任者とする。

2 個人情報保護管理責任者は、必要に応じて、消防協会で行き扱う個人情報についてこの規則に定める諸事項を実施・徹底するため、個人情報保護コンプライアンス・プログラム等の細則を策定しなければならない。

3 個人情報管理責任者は、この規則等の適正な実施及び運用を図り、個人情報が外部に漏えいしたり、不正に使用されたり、あるいは改ざんされたりすること等がないように管理の責を負う。

(個人情報の取得)

第5条 個人情報の取得は、適法かつ公正な方法によって行い、偽りその他不正な手段によって取得してはならない。

2 本人から直接個人情報を取得する場合には、本人（本人が未成年者の場合はその保護者。以下「本人等」という。）に対して、次に掲げる事項又はそれと同等以上の内容の事項を、書面又はこれに代わる方法によって通知し、本人等の同意を得なければならない。

(1) 消防協会の名称、個人情報管理責任者の氏名及び連絡先

(2) 個人情報の利用目的

(3) 保有個人データに関する次に掲げる権利の存在及び当該権利行使のための方法

ア 当該データの利用目的の通知を求める権利

イ 当該データの開示を求める権利及び第三者提供の停止を求める権利

ウ 当該データに誤りがある場合その内容の訂正、追加又は削除を求める権利

エ 当該データの利用の停止又は消去を求める権利

3 本人等以外の者から間接的に個人情報を取得する場合には、本人等に対して前項第3号アからエまでに掲げる事項を書面又はこれに代わる方法で通知し、本人等の同意を得なければならない。

(利用目的及び個人情報の利用)

第6条 個人情報を取扱うに当たっては、事前にその利用目的を明確にし、当該利用目的は、別に定める「公益法人愛媛県消防協会が業務上保有する個人情報の利用目的」に定める消防協会の業務において必要な範囲であり、かつ本人等から同意を得た利用範囲でなければならない。

(個人情報の提供)

第7条 法令で定める場合を除き、個人情報を第三者に提供してはならない。

2 前項の規定にかかわらず、この法人の業務を遂行するために当該業務等の全部又は一部を第三者に委託する必要がある場合には、次に掲げる条件を満たす業務委託先に限り、本人等が事前承諾した利用範囲内において個人情報を当該業務委託先に対して提供できるものとする。

(1) 社会通念上相当な事業活動を営む者であること。

(2) 個人情報の保護に関し、この規則と同等以上の規定を有し、かつその適正な運用及び実施がなされている者であること。

(3) 消防協会との間に適正な内容の個人情報の保護に関する定めを締結し、これを遵守することが見込まれる者であること。

3 前項の委託業務を行う場合は、事前に個人情報管理責任者による承諾を得なければならない。

4 本条第2項の規定により、個人情報を取扱う業務を第三者に委託した場合には、消防協会が当該業務委託先に課した個人情報の適切な管理義務が、確実に遵守されるよう適時、確認、指導するものとする。

(個人情報の正確性の確保)

第8条 個人情報は、利用目的達成に必要な範囲内において、正確かつ最新の内容に保つよう管理運営しなければならない。

(安全管理)

第9条 個人情報管理責任者は、個人情報の安全管理のため、個人情報不正アクセス、漏えい、滅失又は毀損防止に努めるものとする。

2 個人情報管理責任者は、必要に応じて個人情報の安全管理のため必要かつ適正な措置を定めるものとし、当該個人情報を取り扱う役職員等に遵守させなければならない。

(役職員等の監督)

第10条 個人情報管理責任者は、個人情報等の安全管理が図れるよう、個人情報等を扱う役職員等に対して必要かつ適切な指導・監督を定期的に行わなければならない。

(個人情報等の消去・廃棄)

第11条 保有する必要のなくなった個人情報等については、直ちに当該個人情報を消去・廃棄しなければならない。

- 2 個人情報管理責任者は、個人情報の消去・破棄を行うにあたり、消去・廃棄の日、消去・廃棄した個人情報等の内容及び消去・廃棄の方法を書面に記録し、「公益財団法人愛媛県消防協会文書取扱規程」に定める期間、保存しなければならない。

(通報及び調査義務等)

第12条 役職員等は、個人情報が外部に漏えいしていることを知った場合又はそのおそれがあると気づいた場合には、直ちに個人情報管理責任者に通報しなければならない。

- 2 個人情報管理責任者は、個人情報の外部への漏えいについて役職員等から通報を受けた場合には、直ちに事実関係を調査しなければならない。

(報告及び対策)

第13条 個人情報責任者は、前条に基づく事実関係の調査の結果、個人情報が外部に漏えいしていることを確認した場合は、直ちに次の各号に掲げる事項を関係機関に報告しなければならない。

- (1) 漏えいした情報の範囲
- (2) 漏えい先
- (3) 漏えいした日時
- (4) その他調査で判明した事実

- 2 個人情報管理責任者は、関係機関とも相談のうえ当該漏洩についての具体的な対応及び対策を講じるとともに、再発防止対策を策定しなければならない。

(自己情報に関する権利)

第14条 本人等から自己の情報について開示を求められた場合は、原則として合理的な期間内にこれに応じるものとする。また、開示の結果、誤った情報があり、訂正又は削除を求められた場合は、原則として合理的な期間内にこれに応じるとともに、訂正又は削除を行った場合は、可能な範囲内で当該個人情報の受領者に対して通知を行うものとする。

(個人情報の利用又は提供の拒否権)

第15条 消防協会がすでに保有している個人情報について本人等から自己の情報について利用又は第三者への提供を拒まれた場合は、これに応じるものとする。ただし、次のいずれかに該当する場合は、この限りでない。

(1) 法令に規定のある場合

(2) 本人又は公衆の生命、健康、財産などの重大な利益を保護するために必要な場合

(苦情処理)

第16条 この法人の個人情報の取扱いに関する苦情の窓口業務は、事務局が担当する。

2 個人情報管理責任者は、前項の目的を達成するために必要な体制の整備並びに支援を行う。

3 個人情報管理責任者は、適宜、苦情の内容について会長及び業務執行理事に報告するものとする。

(特定個人情報等に関する取扱い規則)

第17条 特定個人情報に関する取扱いの細則については、会長が別に定めるものとする。

(改廃)

第17条 この規則の改廃は、理事会の決議を経て行う。

附 則

(施行期日)

この規則は、平成26年 4月 1日から施行する。

附 則

(施行期日)

この規則は、平成28年 2月22日から施行する。